

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	策定時点	現況値	目標値	2021（令和3）年度 目標値に対する 達成状況	評価	関係課
			現況値	2018 （平成30） 年度	2021 （令和3） 年度			
10	森林蓄積量	千㎡	6,080 (2009(平成 21)年度)	6,286 (2014(平成 26)年度)	7,000	22.4%	C	生産流通課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します	生物多様性地域戦略推進事業	平成26年3月に策定した生物多様性地域戦略の進行管理を行うと共に、生物多様性の保全等に関する事業を行う。	○国際生物多様性の日（5月22日）を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性実感イベント等の開催 ○市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進	環境保全課
	かごしま自然百選活用事業	本市の自然の魅力を広く周知し、生物多様性への市民の理解を深めるため、かごしま自然百選のガイドブックを配布するとともに、新たに案内看板を設置する。	○かごしま自然百選ガイドブックを配布した。 ○かごしま自然百選案内看板を設置した。 ○かごしま自然百選ポスターを作成及び掲示した。	環境保全課
	[H30拡] 生物多様性学習推進事業	本市の自然や生き物、暮らしとの関係など生物多様性について分かりやすく学習できる小学生向け教材を作成する。	○生物多様性学習教材編集会議の開催 ○小学生向け生物多様性WEB教材及び副読本の作成及び開設	環境保全課
	[H30新] 生物多様性自治体ネットワークフォーラム等開催事業	生物多様性の保全と持続可能な利用について、市民の理解を深め行動につなげるため、国と連携し、「生物多様性全国ミーティング&生物多様性自治体ネットワークフォーラム」を開催する。	生物多様性全国ミーティング&生物多様性自治体ネットワークフォーラムの開催（平成30年10月8日（月・祝））	環境保全課
	自然保護事業	自然公園法に基づく許可申請等の受理及び県知事への送付業務	自然公園法に基づく許可申請の受理等を行った。	環境保全課
	自然保護事業	生態系に影響を及ぼすマングースが喜入地域で発見されていることから、県が実施している調査等への協力を行う。	県と連携し、マングースの情報収集や広報啓発を行った。	環境保全課
	国立公園桜島地区美化協会負担金	桜島地区の自然環境を清潔に保持するため、美化協会へ負担金の支出を行う。	桜島の袴腰地区の美化清掃を実施した。	観光振興課
	造林事業	森林のもつ水源かん養機能などの高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐に要する経費に対し助成する。	間伐及び植林・下刈実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕20.22ha 〔植林面積〕35.17ha 〔下刈面積〕41.71ha 〔補助金額〕5,095千円	生産流通課
	万之瀬川流域森林造成対策事業	万之瀬川流域森林において、水源かん養機能の高度発揮を図るため、森林組合等が行う間伐等に要する経費に対し助成する。	万之瀬川流域における植林・下刈実施経費に対し助成した。 〔造林面積〕間伐14.50ha、植林0ha、下刈5.77ha 〔補助金額〕857千円	生産流通課
市有林・分収林の保育作業	市有林・分収林において、水源かん養機能などの高度発揮を図るため、間伐等を行なう。	市有林において間伐を行った。 〔間伐面積〕10.63ha 〔委託料〕9,990千円	生産流通課	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

基本目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します	市民と協働の森林づくり事業	企業やボランティア団体が実施する森林活動に対して支援を行い、市民活動を中心に森林整備を図る。	①市民ボランティア団体や企業が実施する森林整備活動に対する支援の実施 実施期間 3/1-3/22 実施場所 四元生産森林組合林 参加人数 11人 内容 間伐等 ②森林体験イベントの実施 実施日 8/11 実施場所 市有林(千年の森) 参加人数 12組42人 内容 森林教室、木工体験 ほか ③鹿児島地域植樹祭の開催 実施期間 12/1 実施場所 都市農業センター 参加人数 200人 内容 式典、植樹	生産流通課
	特別天然記念物・北限のメヒルギ再生整備活用事業	国指定特別天然記念物「喜入のリュウキュウコウガイ産地」の保存管理	前年度に引き続き、メヒルギの再生を図るため、生息地の環境改善に係る各種取組を進めた。 ・海水導水 ・水質、底質検査 ・土砂、芝の除去 ・土壌穿孔 ・検討委員会開催(2回) ・文化庁調査官招聘 等	文化財課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

【数値目標】

No.	項目	単位	策定時点 現況値	現況値	目標値	2021（令和3）年度 目標値に対する 達成状況	評価	関係課
			2010 （平成22） 年度	2018 （平成30） 年度	2021 （令和3） 年度			
11	自然遊歩道	箇所	7	8	9	50.0%	B	環境保全課
12	グリーン・ツーリズム 登録団体数	団体	32	44	48	75.0%	A	グリーンツーリズム 推進課

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	自然遊歩道の利用促進	自然遊歩道の維持管理及び広報啓発	自然遊歩道（8ヶ所10コース）の維持管理及び広報啓発を継続した。	環境保全課
	自然保護事業	赤水採石場跡地の活用	赤水採石場跡地の活用として植樹を行った。	環境保全課
	かごしま環境未来館管理運営事業（甲突川リバーフェスティバルの開催）	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催することにより、川をはじめとする環境問題への関心を広く喚起する。	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催した。 ・甲突川リバーフェスティバル 〔開催日〕7/28、29 〔参加者数〕3,700人	環境政策課
	桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	桜島・錦江湾ジオパークの世界認定に向け、またジオパーク活動の推進を図るため、観光・経済団体や地域・まちづくり団体など様々な団体と協働・連携しながら推進を図る。	○世界ジオパーク認定に向けた取組 ○ジオパーク活動の展開 ・ジオツアー（5回）、 オープントップバスツアー（3回） ジオ講座（26回）等の開催 ・灰フェスの開催（8/11） ・副読本の作成 ・ジオパークサイト等保全会議の 設置及び協議 など ○情報発信 ・PR映像、ホームページの活用 など	世界遺産・ジオパーク推進課
[H30拡・R元拡]グリーン・ツーリズム推進事業	都市と農村の交流促進及び農村地域の活性化を図る。	都市と農村の交流促進及び農村地域の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムの推進に取り組んだ。 ○グリーン・ツーリズム活動団体等の登録・支援 〔登録団体数〕44団体 〔補助〕2団体 ○農家民宿の開業促進 ○農作業体験学習の実施 〔実施地域〕9地区 ○棚田の保全活動への助成・支援 〔補助〕30万円×1団体 ○グリーン・ツーリズム宿泊体験ツアーの実施 ○漁業体験イベントの実施	グリーンツーリズム推進課	

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

基本目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	観光農業公園交流体験事業	農業・自然・調理・環境の各種体験プログラムを実施するとともに、来園者同士の交流を促進する。	○園内外の自然を活用した自然体験プログラムのほか各種体験プログラムを実施した。 ○グリーンファームサポーター制度の活動を継続し、イベント等の充実や来園者同士の交流促進を図った。 ○観光農業公園へ鹿児島大学からのインターンを受入れや鹿児島国際大学と連携したイベント開催により、学生の視点やネットワークを活用し、体験プログラムや施設運営、地域連携等に係る企画・アイデアの創出、情報発信等の拡充を図った。	グリーンツーリズム推進課
	[H30拡] 観光農業公園賑わい・憩い創出事業	新たに自然豊かで広大なフィールドを生かしたトレイルランニング等のイベントを実施するほか、季節ごとの開催するイベントにおけるアトラクション等の充実を図る。	新たに自然豊かで広大なフィールドを活かしたトレイルランニングや自然体験を楽しめるピザ窯まつり等のイベントを実施したほか、季節ごとに開催するイベントにおけるアトラクション等の充実を図った。	グリーンツーリズム推進課
	市民参加型農業支援事業	消費者に農作業体験を通じて、農業と農村への理解と認識を深めてもらうとともに、地域の活性化を図る。	○市民農園管理組合への助成：7農園・477区画 ○入園式の開催 ○栽培講習会の開催(年2回) ○ボランティアによる開設支援(1農園) ○市民農園を開設する農家への支援(4農園)	農政総務課
	市民農園の管理運営	市民への農園の貸出	[貸出区画数] 820区画 ・家族用区画：766区画 ・団体用区画：44区画 ・車いす用区画：10区画	都市農業センター
	自然観察会の開催	ホテルを見る夕べの開催(かごしま健康の森公園の指定管理者である(公財)鹿児島市公園公社が実施する。)	[開催日] 5/20 [参加数] 2,000人	公園緑化課
	海水浴場管理運営	磯海水浴場、生見海水浴場、西道海水浴場、レインボービーチの開設	[開設期間] ・磯海水浴場：7/10～9/2 ・生見海水浴場：7/21～9/2 ・西道海水浴場：7/21～9/2 ・レインボービーチ：7/21～9/2	スポーツ課
	各学校における農業体験学習の実施	総合的な学習の時間等で、米や野菜、果物栽培等を通じた食と農を考える体験学習を実施する。	総合的な学習の時間等で、体験を伴った農業体験学習等を学校の実態に応じて取り入れるよう学校訪問や研修会等で指導した。	学校教育課
	青少年ふれあい交流・体験活動	小学校4～6年生を対象に、少年自然の家、本名川等で宿泊を伴う体験活動を実施する。	○少年自然の家、本名川で体験活動を実施した。 [開催日] 7/23～24(1泊2日) [参加者数] 小学生43人、ジュニアリーダー6人	青少年課
	夏の思い出～親子でキャンプに挑戦～「中級」・「上級」	中級者向けのキャンプ活動を通じて、家族のふれあいや絆を深める機会とする。	[開催日] 8/25～26(1泊2日) [参加者数] 57人	少年自然の家
	ワイルドキッズ林間学舎 冬の自立キャンプ	宿泊体験等を通して、自立する心を育み、仲間と協力することや、お互いを思いやることの大切さを体験する。	○ワイルドキッズ林間学舎(小学1・2・3年生) [開催日] 10/13～14(1泊2日) [参加者数] 117人 ○冬の自立キャンプ(小学4年～高校生) [開催日] 2/23～24(1泊2日) [参加者数] 63人	少年自然の家

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(3) 生態系に配慮したまちづくりを進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	策定時点 現況値	現況値	目標値	2021（令和3）年度 目標値に対する 達成状況	評価	関係課
			2010 （平成22） 年度	2018 （平成30） 年度	2021 （令和3） 年度			
13	市街化区域の緑地割合	%	7.4 (2008(平成 20)年度)	8.7	7.7	433.3%	A	公園緑化課

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(3) 生態系 を に 進 め ま す ま ち づ く り	準用河川改修事業	災害に強いまちづくりを進めるとともに、環境に配慮した河川の整備を行う。	治水対策を講ずるにあたり、環境型ブロックを設置するなど、環境に配慮した工法の採用に努めた。 (吉水川・牟礼谷川・小山田川・清水川)	河川港湾課 谷山建設課 道路建設課
	城山公園自然の森再生事業	市街地の中心に位置する城山公園では、降雨による斜面崩壊や外来種の侵入による自然林の減少など、植物を巡る環境に変化が生じていることから、指定文化財の有する普遍的価値を尊重しながら、貴重な緑を次世代へ継承する。	城山公園保全計画に基づき、園路を整備するとともに、モウソウチクやハヤトウリ等の外来種駆除を行った。 また、城山の貴重な植生と歴史的環境等を適切に保存及び活用するための方針等を定め、城山を守り活かしていくために、城山保存活用計画策定に向けた取組を行った。	公園緑化課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）》
 《基本目標(4) 環境に配慮した農林水産業を進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	策定時点 現況値	現況値	目標値	2021（令和3）年度 目標値に対する 達成状況	評価	関係課
			2010 （平成22） 年度	2018 （平成30） 年度	2021 （令和3） 年度			
14	エコファーマーの 認定件数	件	101	112	115	78.6%	A	生産流通課

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	概要	平成30年度実績	関係課
(4) 環境に 配慮した 農林水 産業を 進めます	環境保全型農業推進事業	防除薬剤の使用軽減に努め、 環境に配慮した農業を進める ため、防除資材の導入経費な どに対し助成する。	○減農薬栽培推進事業：防虫資材等の導入に 対する助成 〔補助金〕3,948千円 ○環境保全型農業直接支援事業：環境保全効 果の高い営農活動を行う農業者に対する直接 支援 〔交付金〕1,681千円	生産流通課
	環境保全型畜産推進事業	家畜ふん尿処理施設（堆肥 舎）等の整備を進め、畜産に よる環境汚染を未然に防ぎ、 良質の堆肥を耕地に還元する ことにより土づくりに資す る。	家畜ふん尿処理施設等の整備を進める。 〔整備数〕 ・堆肥舎：1棟 ・堆肥処理機械：1台 ・堆肥活用機械：1台 〔補助金〕 6,724千円	生産流通課
	放養量、給餌量の 適正化の指導・啓 発	県の魚類養殖指導指針に基づ いて、適正化が図られるよう指 導を行う。	県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が 図られるよう指導した。	生産流通課
	農林水産物PR事業	各種イベント等により、市民 に市内産の特産農林水産物へ の理解を深めてもらい、地産 地消の推進を図る。 （実施主体：市農産物等流通 促進協議会）	・市内産農産物旬のキャンペーン：3回 ・食の産地交流会：3回 ・暮れの市：1回 ・茶手もみ実演：4回 ・松元茶PRキャンペーン：6回	生産流通課
	遊休農地活用推進 事業	遊休農地の現状把握に努めると ともに、遊休農地の発生防 止や解消に努める。	○情報の収集・発信及び解消策等の検討 ・遊休農地バンクの運営等 ○遊休農地の再生利用 ・よみがえれ農地事業 （遊休農地の開墾経費助成0.37ha） ○遊休農地の発生防止 ・農地流動化対策事業（農地の貸借に対する 助成15.4ha） ・農地中間管理機構集積協力金交付事業	農政総務課